

議事録

件名	川崎市港湾局民間活用事業者選定評価委員会
日時	令和6年7月9日（火） 10:00～11:40
場所	川崎市役所本庁舎305会議室
出席者	渡邊委員長、鷺津委員（zoom）、五嶋委員、伊丹委員（zoom）、丸尾委員
事務局 （所管課）	川崎市港湾局 【川崎港管理センター港湾管理課】赤羽根課長、岩澤担当係長、田中職員 【川崎港管理センター港営課】小倉担当課長、小泉職員、若林職員 【港湾振興部庶務課】吉岡課長、古谷職員、亀川職員
傍聴者 （公開）	なし
議題	川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の令和5年度評価について 川崎港コンテナターミナル関連施設の令和5年度評価について

事務局 （吉岡庶務課長）	（各委員紹介） （委嘱及び任期確認） （資料の確認） （指定管理者との利害関係が無いことを確認） 川崎市港湾局民間活用事業者選定評価委員会を開催いたします。 （委員出席者が定足数に達しており、本委員会が成立していることを確認） （委員長の選出を実施） （本委員会を公開会議として、会議録を作成することを確認） （評価シートの見方について説明）
渡邊委員長	それでは、審議に入ります。 川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の評価シートについて審議していただきます。年度評価の内容については所管課から説明をお願いします。
赤羽根港湾管理課長	（川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の評価シートについて説明。）
渡邊委員長	それでは、評価シートの内容について、御意見・御質問等はございますでしょうか。 …私の方から指名をさせていただきます。収支会計・経営面で、伊丹委員の方からコメントをいただきたいと思います。いかがでしょうか。
伊丹委員	収支について、収入については若干増加してございますが、評価項目でいうところの優れているとまで言えるほどの増加とは言えないのではないかと考えられますので、現状の、全てにおいて「3」という評価は妥当な評価と考えております。

	また、全体を通じましても、最終的な全体の評価が、評価ランク「C」というところになっていますが、こちらについてもトータルで見ても、特段違和感を覚えることなく、妥当な評価になっているのではないかと考えております。
渡邊委員長	ありがとうございました。それでは、総合的な観点で、3名の委員の方から御意見をいただきたいと思います。それでは、鷺津先生、いかがでしょうか。
鷺津委員	評価に関しましては、伊丹先生もおっしゃるとおり、この（評価シートの）とおりにかな、と思います。通常どおりできた、という意味では「C」なのですけれども、設備も古くなっていく中で事故なく普通にやったということに対するインセンティブが何かあった方がいいのではないかとはいいますが、「C」という評価については妥当ではないか、という感想です。
渡邊委員長	ありがとうございました。今の先生の御指摘はやはり、評価シート上数値化できない部分がありまして、典型的なのが、非常に古いインフラの中で頑張っている、という点ですね。その点については、事業執行へのコメントとして、引き続き老朽化した施設の維持に励んでいた、といったことが入っています。 評価シートの得点、評価ということについて、それでは、会場に御出席の委員にコメントをいただきたいと思います。いかがでしょうか。
五嶋委員	評価シート全体に関しましては、説明者の方の説明で大変よく理解できました。 一つだけ質問させていただきたいのですけれども、資料の6の9ページなのですが、施設利用者の人数の比較の一覧が下の方にございまして、令和5年度と令和4年度がありますが、下から二番目の川崎みなと祭りのところだけ、令和5年度の方が「（東公園来場者数除く）」と括弧書きがしてありまして、令和5年度と4年度で、やはりコロナ明けした関係で、全体的な人数は増加しているのですが、こちらだけ括弧書きの項目があり、人数的には減った形の表示になっているのですが、これはどういった理由からこのような表示になったのかお伺いしたいと思います。
渡邊委員長	いかがでしょうか。
岩澤港湾管理課 担当係長	この資料は指定管理者から提出を受けたもので、直接確認はとっていませんが、令和4年度は東公園の来場者を入れて集計をしてしまったものかと思われます。そこで、令和5年度には東公園の来場者を除いた数字で（記載されている）、ということかと（と思われます）。
五嶋委員	多分、令和5年度の方が、もちろん来場者は増えているんですよね。
岩澤港湾管理課 担当係長	そうですね。そちらは増えております。

五嶋委員	そここのところが同じ比較のベースだったら尚よかったと思うのですけれども、いろんなイベントもコロナ前のように順調に開催できるといいなと思いますし、秋が全市を挙げて市のお祭りという形でPRが広くできるのですけれども、春なども桜が綺麗なので、資料を見ると色々やっていらっしゃるところですけれども、桜のことなどは知らない方も多くいらっしゃるかと思いますので、その辺りをもう少し周知されると、遠くの方もお花見にいらしゃったりするのではないかなという気がしております。
渡邊委員長	五嶋委員、ありがとうございます。 おそらく、令和4年と5年の利用実績、中公園のバーベキューのところをしっかりと分けて記載されていて、この数も増えていますので、このあたりの情報からわかるのではないかと。 あとは桜のお話について、魅力的なものは、小さなものでも大きなものでも、どんどんアピールしてもらいたいというお話ですね。中公園でお花見、というのもとても素敵だと思います。 それでは、丸尾委員、体育施設の利用がぐんと上がっているようですが、そういった観点などいかがでしょうか。
丸尾委員	まずはNTC（ナショナルトレーニングセンター）の強化拠点ということで、そういう点においても利用者満足度など事業評価については妥当だと思いますし、3を4にしても（よいのではないか）、と思います。特殊な競技特性もあると思うので、トップアスリートも満足していると思いますし。スポーツ振興の教室もたくさん開かれていまして、集客も増えていますし、この辺りについては、体育やスポーツに対して、開けた場所になっているなという印象を受けました。ですので、評価段階は妥当だと思いますし、もう少し点数がよくてもいいのではないかと個人的には思いました。
渡邊委員長	コロナ明け直後、ということで、人々の出足は鈍りがちであるにもかかわらず、利用者が顕著に上がってきたということでしたし、今年度引き続き、昨年度を上回るような動きがもしあれば、得点を上げてみなさん異議がないのではないのかと思います。丸尾委員、ありがとうございました。 以上、委員の皆様からコメント・御意見をいただきましたが、評価案についてですけれども、適切な評価であるものとして所管課案を了承することよろしいでしょうか。 （異論がない様子を確認） はい、どうもありがとうございました。 それでは、川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園の評価案については了承とします。本決定は、「事業者選定等に関する手続き要綱」の第12条に基づき、事務局より港湾局長へ通知いたしますがよろしいでしょうか。

	(異存が無い様子を確認。)
渡邊委員長	ありがとうございます。 では引き続いて、川崎港コンテナターミナル（関連施設）の年度評価について所管課から説明をお願いいたします。
小倉港営課担当課長	(川崎港コンテナターミナル関連施設の評価シートについて説明。)
渡邊委員長	それではただ今の川崎港コンテナターミナル関連施設の評価について、御意見をお伺いしたいと思います。まず、評価シートの内容について、御意見・御質問等いただければと思います。 早速ですが、収支については伊丹委員の方からコメントをいただければ。
伊丹委員	確認をしたいのが、収支計画・実績の中の収入の確保というところですね、評価段階で4点がついているのですけれども、これは「計画通りの収入が得られているか」、また、「収入増加のための具体的な取組がなされているか」、という2軸で評価がされますが、計画通りの収入が得られているかという点に関して、今年度は先ほど御説明ありましたとおり、当初見込んだ額が得られていないという状況になっています。実際に資料2収支状況等確認シートを見ましても、提案額、それから予算額と比べて、決算額が大体10パーセント前後落ちているという状況なのですが、その中で4点をつけられた理由について改めて御説明いただけないでしょうか。
小倉港営課担当課長	こちらについては、御指摘のように全体の収入額というのは減ってはいるのですが、減収を上回る支出の縮減努力を積極的に行いまして、結果、市に納める納付金額も前年度比較で75万6000円増額させたことを評価しまして、4という評価にしております。
伊丹委員	ここでいう収入の中には、市への納付額も含まれているという理解でよろしいですか。
小倉港営課担当課長	そのような考え方でございます。
伊丹委員	分かりました。そうであれば、特段違和感はないと思います。 全体の数字（評価）つけ方については、かなり努力をされていらっしゃるなというところはうかがえるところでございますので、総合評価として評価ランク「B」がつくことに違和感はありません。
渡邊委員長	ありがとうございました。これは表現的な問題もあるかもしれませんがね。収支計画がゴールの数字になっているという意味合いではなくて、ちゃんと努力をしたか、そして収入を上げて市に献上する部分も努力したか、ということの評価できる（という意味もあります）。

鷺津委員	それでは、総合的に委員の皆様から御意見をいただきたいと思います。鷺津先生、いかがでしょうか。 私は先ほどもお話したとおり、やったことをきちんと評価する、ということは必要だと思いますので、普通だから3、ではなくて、積極的に4や5の数値をつけるということは賛成です。今回は積極的に（事業者の取組が）評価されているので、聞きやすい内容だったと思っております。 一方で、2番の資料（収支状況等確認シート）、伊丹先生は良いとおっしゃっていたのですが、億の単位のお金の中での75万6000円というのは全体から見るとそんなに大きな額ではないような気もしていて、この項目は3でも良いのかな、と思いました。ただ、積極評価というのは賛成ですので、頑張っている事業者に良い評価を行っていきたいというのは変わりません。以上です。
渡邊委員長	ありがとうございました。今回非常に全世界的な要因で貨物量が減って、貨物量が減るということはやはり一番難易度が高いところで、その状況で、薄氷ですけれども収入増としたのは、並々ならぬ努力をしないとできないことで、そういった努力を額にプラスして所管課が評価をしたのだと思います。
鷺津委員	今の渡邊先生のお話で、重要なところがよくわかりました。ありがとうございました。
渡邊委員長	五嶋委員、いかがでしょうか。
五嶋委員	今、委員長からも説明があったように、コロナが5類に移行してほっとしているかと思いきや、ウクライナの戦争や中東の紛争で、世界と繋がっている場所ではいろいろと問題がまだまだ長引いているのだなと感じた次第です。先を見据えての下準備といえますか、地道に努力をしているなということがよくわかりました。 人材というのはとても大切だと思うのですが、文明の利器を使って、楽をできるところは楽をする、というところを進めていけるとよいと感じた次第です。
渡邊委員長	ありがとうございます。丸尾委員、何かいかがですか。
丸尾委員	5点がついている、業務改善によるサービス向上のところですね。これの理由のところに、「仕様書等では明示されていない事項であっても」という文言があるのですが、これは資料の10にある仕様書では少し良くわからなかったもので、わかる範囲で良いのですが、こういった内容であったのか、いくつか教えていただけると、この5という評価がより納得できるのでお願いいたします。
小倉港営課担当課長	たとえば、突発的な事故等や設備のところで、設備の不具合などでいいますと、指定管理者が担うべきか、市が担うべきか、というのがグレーなところがあり、仕様書にはそういった細かいところについては明記されていないため、不具合が生じたものの使われ

	方と、位置づけによって、別途協議する形のものがあります。
丸尾委員	それは今後事例に基づいて仕様書に盛り込んでいくようになっていくのでしょうか。
小倉港営課担当課長	そこまで細かい項目を盛り込んでしまいますと、量も増えまして、予め想定できない事項もどうしてもあることから、そういったものについては別途協議しましょうという位置づけです。
丸尾委員	では、その臨機応変さが素晴らしいということで今回の評価がされているということですね。
小倉港営課担当課長	そうですね、拒否することなく応じている、ということで、評価をしています。
丸尾委員	わかりました。ありがとうございます。
渡邊委員長	丸尾委員、補足なのですが、この評価の理由のところに真ん中に書いている、バンプール、いわゆるコンテナを積むトレーラーの部分の駐車場ですね。その供用開始に伴い、コンテナターミナルの中に入ったり出たりする玄関のようなところの位置を大幅に変えたのです。そういたしますと、各方面からくるトラックの運転手が最初はものすごく戸惑うのです。全長16mもあるトレーラートラックでコンテナを積んでいるような大型車両が、何台も迷ったりうろうろしたりすると、重大事故が一番起きやすくなります。 この一年ですね、その問題を、上手に監視カメラデータの共有でしたり、とにかく混乱をしないようにしていました。これは先ほど所管課も言っていたとおりグレーゾーンであり、特に管理者がやらなくてもよいのではないかと割り切ってしまうこともできるので、万が一重大事故が起きたら元も子もないということで、あえてその辺りの区切りは取り払ってですね、とにかく混乱による事故を防ごうということで、頑張ってくれたのではないかとということが具体的に評価の理由には書かれています。
丸尾委員	ありがとうございます。素晴らしいですね。
渡邊委員長	やはり、安全が達成されても、事実上何も起こっていないというだけになるので、見過ごされやすい。
小倉港営課担当課長	実際、先生がおっしゃるとおりバンプールの供用を開始した当初はですね、ドライバーも新しい導線に慣れていない。受け入れる施設側のゲートの窓口の人間も慣れていない、というところで、かなり渋滞がおきまして、車列ができてしまったんですね。いつまでそういった渋滞が続くかわからない中、改善した方がいいということで、カメラの設置ですとか、そういった状況を利用者に周知することによって、未然に事故を防いだということも、この評価の内容の一つになっています。

丸尾委員	ありがとうございました。
渡邊委員長	ありがとうございました。 それでは、最後になりますが、貨物量の減少について、川崎港は、大変失礼な言い方ですけれども、中小港なのですが、昨年度のような戦争が長引いたり、そしてコロナがあったり、スエズ運河も通れなくなったり、全世界的な社会情勢の混乱が続くと、グローバル海運というのは結局、大手港に集中させるんですね。荷主さんのサービス提供を維持しようとする。それで、荷主さんからすれば、それによって自分の貨物が滞りなく輸出入ができた場合、自分自身にあまり大きな影響はない。そうすると、特に港を元に戻さなくても、大きな支障はなくなってしまうので、そのまま居ついてしまう。 こういうことは、川崎港だけではなくて、全ての中小港の課題ですね。ですから、先ほどの御説明にもありますけれども、私は個人的には9万6千TEUくらいを維持できたことがとてもいいなと思ったのですが、やはりこれから荷主さんに対する川崎港の魅力のアピール、ポートセールスを、さらに努力していかないとですね、（ほかの港に）行ってしまったものは戻ってこないという体質がありますので、市の皆さんもぜひ、努力をして言っていただければと思います。これは私の個人的な意見です。
小倉港営課担当課長	承知いたしました。
渡邊委員長	それでは、川崎港コンテナターミナル（関連施設）の年度評価について意見をいただきましたので、いかがでしょうか皆様。所管課の評価ランクについて、適切な評価であるものとして所管課案を了承することよろしいでしょうか。 （異論がない様子を確認） はい、どうもありがとうございます。 それでは、川崎港コンテナターミナル関連施設の評価案については了承とします。本決定は、「事業者選定等に関する手続き要綱」の第12条に基づき、事務局より港湾局長へ通知いたしますがよろしいでしょうか。 （異存が無い様子を確認。） はい、ありがとうございます。 以上で本日の議事を終了いたします。長時間に渡り皆様には議事進行にご協力頂き、誠にありがとうございました。 ここで事務局に進行をお返しします。
事務局 （吉岡庶務課長）	渡邊委員長誠にありがとうございました。 本日の議事録作成のため、後日事務局から案を送付させていただきますので御確認をよ

	ろしくお願いいたします。長時間にわたり、御審議賜りまして誠にありがとうございました。 これをもちまして、川崎市港湾局民間活用事業者選定評価委員会を終了とさせていただきます。 お疲れ様でございました。 以上
--	--